

こども未来戦略 加速化プラン

こども・子育て支援

2025年4月から さらに充実します

妊娠・出産、子育ての不安、ありませんか
妊娠した方への給付・伴走型相談支援が制度化されます

「こども誰でも通園制度」が
制度化。一部地域で始まります

「伴走型相談支援」では、
妊娠期から寄り添い、面談を通じて、
出産・育児等の相談に応じ、多様な
ニーズに応じた支援につなぎます。

妊婦のための支援給付



その後も継続的に支援

「妊婦のための支援給付」では、
面談と合わせて、
・妊娠届出時に**5万円**
・妊娠後期以降に妊娠している
こどもの数×**5万円**
を支給します。



「こども誰でも通園制度」は、
保育所等に通っていない0歳6カ月から
満3歳未満のこどもが
時間単位等で柔軟に利用できます。
(こども1人当たり10時間/月)
(25年度は希望自治体、26年度より全国実施。)
子育ての悩みも話してみませんか。



詳しくはこちら



産後に安心して子育てができるように
産後ケア事業の提供をより計画的に広げていきます

もっと安心してこどもを預けられる保育環境へ
児童数に対する保育士の配置を厚くします

産後は、出産や育児の疲れから体調が良くない場合や
授乳や育児のことで悩みを抱えやすい時期です。
そんな時には「産後ケア事業」を利用してみませんか。

産後1年以内の方であれば、
希望者全員が利用できるよう
環境を整備しています。



詳しくはこちら



25年度～

1歳児 6対1 ▶ **5対1**

24年度～

4・5歳児 30対1 ▶ **25対1**



詳しくはこちら



保育士等のさらなる処遇改善も進めます。

両親がともに育休を取った場合に
手取り10割相当を支給します

「出生後休業支援給付」を創設し、
子の出生直後の一定期間内に
両親ともに14日以上の子育て休業を
取った場合、**最大28日間**、
手取りの**10割相当**を支給します。



育児休業等
給付



育児休業給付

従来

支給額

休業開始時
賃金日額

休業期間の
日数

67%

※休業開始から
通算180日

社会保険料の免除等で実質手取りで80%相当

+ 出生後休業支援給付 (13%)

25年
度～

出生後一定期間内に両親とも14日以上
育児休業を取得した場合、最大28日間

80%

社会保険料の免除等で実質手取りで**100%相当**

時短勤務時に賃金の10%を支給します

「育児時短就業給付」を創設し、こどもが2歳未満の期間に、
時短勤務によって賃金が低下した場合、
時短勤務時の賃金の原則**10%**を支給します。

柔軟な働き方を実現します

「子の看護休暇」を見直し、対象となるこどもの年齢を
小学校就学前から**小学校3年生修了時まで**引き上げます。
また、**感染症に伴う学級閉鎖等**やこどもの行事(入園(入
学)式・卒園式)にも活用可能とします。

「所定外労働の制限(残業免除)」について、
請求できる期間をこどもが3歳になるまでから**小学校就学
前まで**引き上げます。



仕事と育児・介護の
両立支援対策の充実
について



こども未来戦略 加速化プラン

こども・子育て支援

2025年4月から さらに充実します

こどもの生活支援をさらに充実させます

こどもや若者が安全で安心できる居場所を見つけられるように、**こども食堂や学び体験の場**などを増やし、こどもに対する地域の支援体制を強化します。



こどもの学習支援をさらに充実させます

経済的困難に直面するひとり親家庭などのこどもたちへ、**地域での学習をサポート**する場を増やし、大学等受験料や模擬試験受験料を補助するなど、学びへの支援をさらに充実させます。



障害の有無にかかわらず、全てのこどもが安心して共に育ち暮らすことができる地域社会づくりをさらに充実させます

習い事や塾、スポーツクラブ等の地域の様々な場における障害児の参加・包摂（**インクルージョン**）を更に推進します。また、乳幼児健診等での「気づき」の段階から、**こどもの発達の特徴を踏まえた支援の充実・強化**を更に進めます。**医療的ケア児について一時的に預かる環境の整備**を更に進めます。



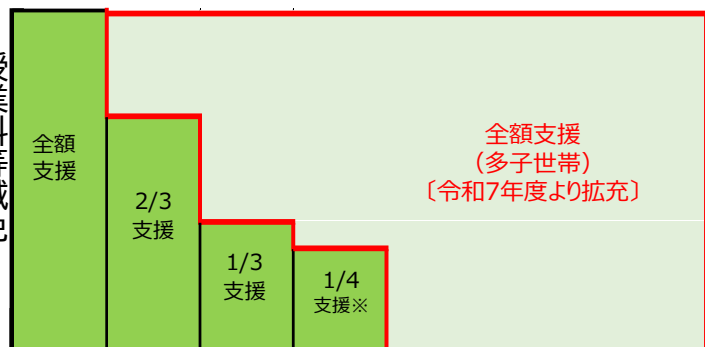
こども・若者のSOSを見逃さないように、必要な支援につなげられるように

子育て世帯への訪問支援や食事提供、学生等への相談支援など、多様なアウトリーチ支援を充実します。



こども3人以上の世帯の大学等にかかる教育費の更なる支援拡充が始まります

こどもを**3人以上扶養**している場合については、**所得制限なく**、国が定めた一定の額まで、大学等の**授業料・入学金を無償**とします。（授業料70万円・入学金26万円）私立大学の場合4年間で最大70万円×4年+26万円を支援



※私立理工農系を含む

支援対象 = 扶養する子供が3人以上 かつ 大学等に通っている 場合

	第1子が大学進学	第2子が大学進学	第1子卒業後	
			大学院進学	就職
卒業後	支援対象	支援対象	支援対象	支援対象
大学生	支援対象	支援対象	支援対象	対象外
高校生以下	支援対象	支援対象	支援対象	支援対象

※ □ は扶養する子供

